

2020年3月

創刊号

愛知県青商会情報誌



発行元:
在日本朝鮮愛知青年商工会
名古屋市西区上名古屋 3-16-25
TEL.052-618-7771
aichi.kyc@gmail.com

愛知県青商会第19期役員紹介



権勇錫
会長



金征
直前会長



姜龍洙
副会長
岡崎三河地域会長



金正壽
副会長
南地域会長



徐吉勝
副会長
東春守山地域会長



文誠孝
副会長
尾張地域会長



金栄大
幹事長



李舜麒
総務部
長



申泰秀
総務部副部長



朴推典
経営企画部長



崔運栄
民族教育支援部
長



金在鳳
民族教育支援部
副部長



吳賢圭
民族教育支援部
副部長



朴未順
生活文化部
長



李英姬
広報部長



金正吉
国際統一部
長



金庸鉉
財政部
長



全弘道
豊橋地域会長



金学洙
瀬戸豊田地域会長



曹潤一
名駅名西地域会長



張裕基
名東地域会長



韓德圭
名中地域会長



朴亮浩
名港地域会長



沈在功
中川地域会長

2019年10月、金征会長からバトンを受け取り、第19期愛知県青商会会長に新しく選出された男、それが権勇錫会長(以下、勇錫)だ。「モア、愛知県青商会！」のスローガンを胸に更なる飛躍を誓う会長を紹介する。



バスケットボール抜きでは語れない勇錫の学生時代

バスケットボールとの出会いは、勇錫が朝中に入学した1992年4月。同じ小学校出身の先輩達が、サッカーチームに入部を決めていた勇錫を半ば強引にバスケ部に引っ張った。だが、すぐバスケに夢中になる。NBAの動画を擦り切れるほど再生し、そのイメージを頭に叩き込んだ。しかし勇錫を奮い立たせたのは、当時「朝高史上最強」の呼び声が高いスター軍団であった。「先輩達みたいになりたい」との想いが勇錫を大きく成長させた。中高と主将を務めた勇錫は、リーダーシップも学んだ。高校最後の公式戦で、勇錫は在日バスケ界に衝撃を与えた。強豪相手に1人だけで、50得点を奪い、観客の度肝を抜いたのだ。「6年間で学んだことは計り知れない」と話す勇錫、特に「考えて行動することの大変さ」を実感したそうだ。

朝青を経て青商会へと。“無”から始まった勇錫の青商会活動

朝高卒業後も愛知ロング団に在籍して、バスケを続けた。一方朝青活動にも熱心に取り組んだ。「特別な重圧もなく、ただ楽しかった」と振り返る。その後青商会会員となつたが、勇錫が属する地域に、青商会は存在しなかつた。メンバー集めに奔走する毎日。説得も容易ではない。だが、早速立ちはだかる壁に動じることはなかつた。勇錫はそういう男である。メンバー達の並々ならぬ努力の末、尾張地域青商会はついに立ち上がつた。だが、これは勇錫にとって最初の一歩に過ぎなかつた。

ウリハッキヨが大好きな勇錫、胸にあるのは「ウリハッキヨを軸に」

勇錫はウリハッキヨが大好きである。20代の時にウリハッキヨの学芸会を観覧したことがきっかけだ。涙なしでは見れなかつたと語る。「ウリハッキヨのために、何かをしたい。」尾張地域青商会では、ウリハッキヨの財政的なサポートについて、夜な夜な議論を交わしたという。ある日、ひとりの幹事が「一宮七夕祭り」に出店して売上金を寄付しようとの提案を持ってきた。すでに段取りは済ませていたみたいだ。話はトントン拍子に進み、準備期間を経て、当日は何十万円もの売上を達成した。定期的にウリハッキヨに寄与が出来るようになった。これに止まらず、機会があればどこでも屋台を出した。



権勇錫時代の到来、今期のスローガンは「モア、愛知県青商会！」



ついに愛知県青商会会長の重責を担うことになった。「ウリハッキヨを更に発展させる」という軸にブレはない。「先輩たちが死に物狂いで受け継いできた伝統を、何があっても潰すわけにはいかない」と決意に満ち溢れる勇錫は、「ウリハッキヨ発展のために愛知県青商会がひとつになること」が重要だと話す。そして「県は地域のためにある」と地域への関与も忘れない。「一つひとつの積み重ねが大きな前進を生み、そこから新たなものが生まれる」と前を見る勇錫。「モア、愛知県青商会！」の基本精神を身にまとい、飛躍に向けてアツく燃え上がる彼の背中は、例年になく大きい。

ロングインタビュー版はこちら→



11年ぶりの金剛山歌劇団公演を実現！



今、他の地域が行なっている川遊びや家族ぐるみのイベント。豊橋地域青商會では、昔からずっと行なっていて伝統になっている。豊橋という地域は、縦の関係が強く仲が良い。その関係が横に広がって家族同士も仲が良い。青商會の会長も先輩からの「会長をやってくれないか？」という頼みを断らず、代々引き継いできた。それが続いて20年。

20期目の今年は、トンボ達が集まる機会をつくることや、会員同士、家族同士の交流を深めること。そして、豊橋地域青商會20期をお祝いするイベントを行う予定だ。そんな豊橋地域青商會は昨年10月、11年ぶりの金剛山歌劇団豊橋公演を成功させた。何かを成し遂げることは一人の力では難しい。公演成功の裏には、会長の想いに応え続けた会員やトンボ達の支えがある。豊橋地域の人たちの温かさと優しさ、結束力が20年続いてきた豊橋地域青商會の歴史なのだろう。



歌劇団公演開催のきっかけがわかるお話はこちら →

愛知 × トンボ × 飲食店

名古屋駅太閤通口から駅西銀座通りに向かって徒歩5分程で見えてくる「ちんぐ」。お店のオープンから4周年を迎え、現在5年目だ。

店主は、これまで料理一筋で仕事してきた梁志烈さん。食材にこだわりを持っており、食材ごとに買う場所を変え、いい食材がなければ違う場所に探しに行く。そのため、仕入れに4時間以上かかることも...。それでも納得のいく食材がなければ、その日は仕入れないという。

そのこだわりは料理にも出ている。たとえばキンパ。沢庵は日本のものというイメージが強く面白くない。そこで、韓国の食材を具にすれば面白いのでは?と、チャンジャやエゴマ、ピビンバをキンパにした。また、米にも味をつけたらもっと美味しくなると、塩とゴマ油で味つけをしている。

「ちんぐ」は梁志烈さんの、仲間と過ごす楽しい時間と美味しい料理への想いが形になった粋なお店だ。



MAP



仲間、家族という言葉を大事にしたい。そして「みんな友達」という感じのお店にしたいというコンセプトから、店名を「ちんぐ」に。ロゴマークの「∞(無限)」には、限界を作らないという意味が込められている。

韓国料理居酒屋ちんぐ

名古屋市中村区竹橋町16-13
090-1446-2529
月～土:18時～翌5時
日・祝:18時～翌3時
不定休

コラム

あなたの火災保険は大丈夫？

近年自然災害による猛威が日本全国で甚大な被害をもたらしているのは、皆様も肌でかんじていると思われる。記憶に新しい例では、2018年に起きた西日本豪雨や台風21号と24号による被害だ。日本損害保険協会の発表によると、2018年度に発生した自然災害(地震除く)による損害保険の各保険会社の自然災害保険金支払額は過去最高の1.6兆円。前年度比8.4倍となった。損害保険会社各社は2019年10月に自然災害を対象とする火災保険料を6%から7%引き上げた。しかもこの値上げは2018年度の災害分を織り込んでいないため、保険料の値上げは今後も続く恐れがある。

ここで皆様に確認して頂きたいのは、現在ご自身が加入されている火災保険契約である。現在のご契約内容(保険期間、保険金額、補償内容等)がどのようにになっているのか。補償内容でいうと、風災(台風による被害)に関しては基本的に補償の範囲に含まれているが、免責事項がどうなっているか。例えば20万円FCという契約の場合、風災による損害が20万円以上認められなければ、実際に損害があっても1円も保険金は下りないので。

また近年多発している大雨による被害として水災の補償内容も確認して頂きたい。水災の支払い条件というのは床上または地盤面より45cmを超える浸水、もしくは建物評価額の30%以上の損害が出ないと支払われないという厳しい条件の商品が殆どだが、近年は浸水条件なしで水災を補償の対象とする商品も出てきている。

もうひとつ注目して頂きたい特約として、事故時諸費用特約(※臨時費用特約と呼ぶ保険会社もある)である。この特約は認定された保険金に対して、ご契約内容に応じて10%～30%上乗せして保険金を支払うという特約である。認定された損害額に上乗せして支払われるこの特約は、必ず皆様のお力になるであろう。

また今後更なる保険料の値上げに際して、1年契約を長期契約に、また契約の中途更改等をする事によって保険料の値上げをなるべく遅らせるのも保険料の負担を抑えるポイントといえるだろう。

(文:金剛保険株式会社 河会守)



編集後記

はじめまして、愛知県青商会広報部です。情報誌をご覧頂き、ありがとうございます。この度、青商会に関わるあらゆることを発信していく情報誌を発刊することになりました。これからも「フルスロットル愛知」を、どうぞよろしくお願いいたします。

さて、今回の発刊に向けて、筆者は豊橋地域青商会会長であり、筆者の同級生の全弘道会長が経営しているラーメン屋「いしやま屋」におじゃました。厨房に立ちラーメンを作る弘道会長の姿は、まさに「大将」という言葉がぴったりでした。作るラーメンはどれも美味しく、同行した2名も含め全員完食でした。

皆さん、豊橋にいかれる際はぜひお立ち寄り下さい。

(南東海知多地域 李創詠)



場所：鈴鹿カンツリークラブ トップスタート：8時
三重県津市芭濃町芭原 2417-1 TEL:059-265-3311
参加費：プレー代 10,000円
(懇親、懇親会ドリンク、茶店ドリンク、パーティー付)
チャリティー 10,000円
当日、名刺をご持参ください。
主催
在日本朝鮮愛知県青年商工会
名古屋市西区上名古屋 3-16-25 TEL:052-618-7771 FAX:052-618-7770
MAIL:aichi.kyc@gmail.com 事務局:090-2610-0550(担当 金)

ご協賛ありがとうございます！

明洞

SNACK 3
TEL:052-893-8817

焼肉貴



かんカフェ
TEL:0562-55-3301

愛知県知事許可(般-30)第102860号

株式会社エイティック

名古屋市北区楠味鋤一丁目1204番地
TEL 052-909-5068 MAIL eigo@eitech-nagoya.com
URL http://www.eitech-nagoya.com